



# 会派代表質問

3月5日(金)

3月定例会では5つの会派が、一宮市議会初となる会派代表質問を行いました。

- ・紙面の都合上、質問等の一部を掲載します。
- ・QRコードは録画映像へのリンクです。
- ・会議録は5月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

本稿は、質問者が作成しています。

行数は、会派ごとの制限時間に応じて按分しています。

## 令和会

**Q** 中核市への移行によって、今後どのように行政サービスの向上に取り組んでいくのか。

**A** 県から受け継ぐ権限をフルに活用して、「はやい」「べんり」「あたらしい」といったメリットを市民の皆さまに実感していただけるような施策を展開してまいります。「はやい」では、これまで2か月かかっていた障害者手帳を市が作成して、3週間ほどで交付することが可能になります。「べんり」では、家庭ごみだけでなく産業廃棄物を含めたごみ問題全般に、市が対処できるようになります。「あたらしい」では、消防にスーパーレスキュー隊を設けるほか、空き地対策にも取り組めます。

**Q** 本市で今まで行われた新型コロナ対策は、どういった方針で進めてこられたか。

**A** すべて県まかせ、国まかせでは、地域の実状に応じた対応ができません。一宮市も財政状況が厳しい中ではありますが、国からの支援、主に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、独自の支援を行いました。市内の個人事業主や中小企業に対しての支援として、市独自の協力金や持続化給付金、3密対策リフォーム等補助金、また、国の特別定額給付金の対象日以降に産まれた新生児への給付金など、様々な対策をとってまいりました。

**Q** 2021年4月から保健所が市の管轄になりますが、このことをどう活かしていくつもりか。

**A** 一宮市保健所を所轄することにより、新型コロナウイルスに関連する様々な生の情報を把握することができるようになります。感染者の数のみならず、検査実施の状況をはじめ、これまでできなかった市内の感染動向の分析結果などを迅速に提供し、少しでも市民の皆さまに安心していただけるよう努めてまいります。

**Q** 市制100周年を、今後の本市のシティプロモーションにどのように活かしていくのか。

**A** 「まちなかウォークブル推進事業」の実施のほか、「市民チャレンジ事業」をはじめとした市民参加の様々な事業を展開し、次の100年につながる新たな市民の活力の創造や、健康で元気な一宮市の魅力アップにつなげていきたいと考えております。

**Q** 先端のICTをどのように活用し、デジタル市役所の構築やまちづくりを進めていくのか。

**A** 具体例を申し上げますと、これまで以上にオンライン申請やキャッシュレス決済を取り入れていきます。また、2021年3月から市民課や保険年金課の窓口でお待ちの方の人数が、ウェブサイトリアルタイムで表示されるようになりました。様々な分野でのオンライン相談など、市民の皆さまの利便性向上につながるデジタル技術の活用に取り組んでまいります。

## 自由民主党一真会

**Q** グリーン成長戦略と脱炭素社会の実現に向け、政府は2050年カーボンニュートラルを宣言した。一宮市のグリーン社会の実現について、地域新電力会社の設立により、SDGsを目指すものはどのようなことであるのか。

**A** 地域新電力会社の設立は、地球にやさしい循環型エネルギーの活用等、市内の再生可能エネルギーの地産地消による低炭素なまちづくりを推進する事業と位置付け、コロナに打ち勝つグリーン政策に力を入れてまいります。

**Q** 一宮市は4月から中核市となり、市保健所施設の建設整備に向け基本計画を策定されるが、その後のスケジュールはどのようなものか。

**A** 令和3年度に計画を策定、4年度に基本設計、5年度に実施設計、6～7年度に建設工事を行い、7年度中に新保健所を開設予定です。

**Q** ワクチン接種について、国の通達に倣うだ

けでなく、市民が安心して接種できるようにしてほしい。クーポン券の郵送時期、接種することになるワクチンのメーカー、接種対象者の順序、接種会場、予約方法など、市民から数多くの疑問が寄せられている。フローチャートを作成することはできないか。

**A** ワクチン供給の確実な目処が立てば、ウェブサイト等、できるだけ早くお知らせします。また予約から接種までのフローチャートを作成し、分かりやすくお伝えできるよう準備します。

**Q** 1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを整備するGIGAスクール構想を中心としたICT教育について、現在までの効果と、今後の学校現場での活用について尋ねる。

**A** 休校期間中、インターネット上で視聴できるように約400本の学習支援動画を作成し、120万超のアクセスがありました。今までの教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることで、効果的な活用を進めてまいります。

## 質問者

令和会	渡辺 之良	議員
自由民主党一真会	松井 哲朗	議員
公明党一宮市議団	平松 邦江	議員
新緑風会	高橋 一	議員
いちのみやを良くする会	宇山 祥子	議員

## 会派代表質問とは

一般質問の1つで、所属議員が2人以上の会派の代表が市政運営方針や政策課題について質問することです。

※7ページの「おしえて!いちみん」で説明しています。



ID 1005109

## 公明党一宮市議団

**Q** 令和3年度をどのような年度にしていくか、明確なビジョンとメッセージを問う。

**A** 厳しい状況でも、コロナとの戦いに反転攻勢する、明るい兆しを感じていただける年にしたいと考えています。

**Q** 市の総合計画をSDGsの目標達成に則した形で検討されたい。また、「SDGs未来都市」への考えを問う。

**A** 第7次総合計画の令和5年度からの後期計画の策定に反映させていく方向です。また、未来都市への研究をしていきます。

**Q** 新型コロナワクチン接種は一大プロジェクトと考えるので、全庁横断的な組織構築と事前訓練の実施について問う。

**A** 全庁的な協力体制で取り組んでいきます。また、集団接種会場を想定するシミュレーションを行う必要性を感じています。

**Q** 中核市移行後の中期財政計画を問う。

**A** 令和4年度までの中期財政計画を改めて検討しています。

**Q** 地域福祉計画について問う。

**A** 地域福祉計画とは、制度、分野の縦割りや支え手と受け手という関係ではなく、丸ごと繋がる社会の実現を目指す上位計画です。

**Q** 地域新電力会社の設立の検討経緯を問う。

**A** 環境センターのごみ焼却発電電力をはじめ、市内の再生可能エネルギーの地産地消を目指して、将来性を見込める地域新電力会社を設立することに決めました。

**Q** 避難所運営キットの導入について問う。

**A** 大変有効であるとわかりましたので市独自のキットを作成する方向で導入予定です。

## 新緑風会

**Q** 中核市移行と市制100周年は飛躍の「天の時」。保健所のスムーズな運営と、100周年のレガシーをどう考えるか。

**A** 保健所については、実務研修を受けた市職員、県からの派遣職員で、しっかりとした体制を組み、全庁的にサポートもしてまいります。100周年のレガシーについては、市民チャレンジ事業が、継続的な活動に繋がっていくよう、サポートしていきたいと考えております。

**Q** 名神高速、名古屋高速、東海北陸自動車道で8つのインターを持ち、鉄道では20の駅がある当市。日本列島のハブとなりうるポテンシャルが

ある。太平洋側の日本海の玄関となり、名古屋からJRで10分という、この「地の利」を今後どう活かしていくか。

**A** ご指摘のとおり一宮市は、利便性と郊外に自然が残るトカイナカが魅力です。さらに交通の要所であり、こうした特色を広くアピールして企業立地やインバウンド獲得に努めてまいります。

**Q** 第三次一宮市男女共同参画計画に基づき、女性の就労支援、仕事と子育て、介護の両立支援をどのように推進していくのか。

**A** 女性の活躍できる環境づくりのため、離職された方へのセミナー開催、企業へのワークライフバランスの普及・定着の働きかけ、育児サービスの充実を推進してまいります。

## いちのみやを良くする会

**Q** 誰一人取り残さないデジタル社会の実現として、高齢者並びにICT弱者対策として、スマートフォンなどICT機器の知識を学ぶ場が必要である。高齢者の「学びの意識」も高め、さらには地域コミュニティ力の強化や世代交流の場、認知症予防対策、市全体のデジタル化の進展につながると思うので是非、「通いの場」であるおでかけ広場でスマホ教室を開催してほしいかがか。

**A** おでかけ広場の主催者に対して民間企業

による情報を提供することで、スマートフォンやタブレットの講習につながるよう支援していきたいと考えています。

**Q** おでかけ広場を継続するにいたって、主催者に資金的な面も支援が必要だと考えられるが、補助金の増額や今後の対応はいかがか。

**A** 補助については、県内の中核市も実施していない状況であり、増額は考えていません。しかしながら、市は安心しておでかけ広場が開催できるよう、令和2年度に補助金の対象範囲を広げ、非接触型体温計や消毒液の購入にも対応いたしました。令和3年度も令和2年度と同様に補助の対象範囲を広げていきたいと考えています。